



市民ネットワーク北海道 議会レポート 北広島版



北広島市議会議員
鶴谷 さとみ

北広島市議会議員
田辺 ゆう子

発行 市民ネットワーク北海道

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4F

TEL 011-219-0112 FAX 011-219-0113 ●ホームページ <http://snet21.jp/>

大事なことは 市民が決める

第1回定例会の予算審査特別委員会において、新年度予算が審議され、その使い途が決まります。2018年度の北広島市の一般会計は約235億円でした。

私たちが直接納める市民税を含め税金がどのような事業にどのくらい使われるのか知っていますか。新規事業については、前年の12月中頃、パブリックコメントを募集するため、ホームページなどで公開されます。子どもの貧困、介護の必要な高齢者の増加、老朽化する公共施設やインフラなど財源を必要とする事業がたくさん控えています。優先順位を決め、適正に分配することを決めるのは、わたしたち市民です。未来の子どもたちに豊かな北広島を引き継ぐために、積極的にまちづくりに参加しましょう。

■北広島市議会第1回定例会

会 期 2月19日～3月20日

代表質問 2月28日、3月1日

12月議会

一般質問報告

鶴谷さとみ

●食農教室の拡充を

より多くの子どもたちが参加できるよう、小学高学年は子どもだけでも参加可能にすることや、休耕農地を活用した子育て世代向けの農業体験など、事業の拡充を求めました。

●ごみ削減に向けた取り組み

豊かな自然環境につつまれた北広島を次世代に引き継ぐため、リユース食器の活用、ごみ分別アプリの導入、ファイターズエコプロジェクトの拡充、野外音楽祭などで取り組んでいる分別ナビゲートスタッフの配置、ポイ捨て等を防止するための条例制定について提案しました。

ごみの削減は、一人当たりの目標と取り組む効果をわかりやすく発信し、理解を深めることが大切です。多世代の市民参加で色々な意見を反映しながら進めるべきです。



▲野外音楽祭「ライジングサンロックフェスティバル」での分別ナビゲート活動

12月議会

一般質問報告

田辺ゆう子

●防災対策

9月に発生した台風と地震を十分検証したうえで、地域防災計画の見直しが必要です。策定の際は、今回避難所生活を余儀なくされた方をはじめ、多くの市民の意見を聞く機会を設けるべきです。また、地域の実情に合わせた北広島市独自の防災リーダー養成講座を実施することを求めました。

●暴力のない社会

2017年度全国の警察に寄せられたDV相談受理件数は7万件以上と過去最高になっています。子どもたちが将来DVの被害者にも加害者にもならないために、中学生など早期にDV予防教育をNPOなど民間の力もかりて実施することを提案しました。

●ひきこもり支援

ひきこもりの長期化、高齢化が深刻な問題となっています。実態を把握し、当事者や家族が孤立せず、相談や支援の場となる居場所づくりが必要です。

●認知症の理解

認知症高齢者への対応に備え、市の職員は認知症に関する研修を継続するとともに、不利益が生じないよう庁内の連携に努めることを求めました。